CDN・WAF 構成点検表・海外接続

キャッシュの正確性、正常な要求、変更時の復旧を確認する運用点検キット

導入の判断と実行のためのIXC実務資料

2026.09 発行 · 日本語版 · PDF + Excel記入様式

この資料の活用

すでに運用中のCDN・WAF設定の中から、更新の不具合、正常な要求の遮断、オリジン露出の問題を見つけます。

CDN・WAFの運用担当者、海外サービスの担当者、セキュリティ点検の責任者

目次

01 実際の要求が通る経路を確認します 3

02 キャッシュとWAFは別の質問で点検します 4

03 設定点検と修正の記録表 5

04 変更後の観測と復旧を続けます 6

記入と活用

PDFの基準を読み、空欄に実際の条件と未確認の項目を記入します。同じ部門のExcelには資料ごとの記入シートがあります。記入例は、実際の顧客事例や確定した見積もりと区別してお使いください。

出典を明記すれば、社内検討と業務遂行のために引用・改変してご利用いただけます。最新のファイルは www.ixc.co.kr/ja/assets でご確認ください。

実際の要求が通る経路を確認します

まず、ドメインごとの要求経路と保護範囲を突き合わせます。管理画面に設定があっても、実際のトラフィックがその設定を通らなければ効果は確認できません。

公開ドメインとAPIホストを一覧にし、DNS、証明書、CDN設定、WAFポリシー、オリジンをひも付けます。本番・試験環境と迂回用ドメインを区別します。アクセス記録で実際の要求と適用ポリシーを照らし合わせ、漏れているホストを見つけます。オリジンへの直接経路を制限するときは、ヘルスチェックと承認済みの連携が使う経路も確認します。

点検項目	質問	証拠
DNS・ホスト	使用中のドメインはすべて含まれますか？	DNS応答・ホスト一覧
TLS証明書	名前・有効期限・更新担当は正しいですか？	証明書の確認・更新経路
適用設定	実際の要求にどのバージョンが適用されていますか？	要求ログ・設定バージョン
オリジンアクセス	迂回経路と許可する要求が区別されていますか？	アクセスポリシー・連携試験

> **変更前の基準線**
>
> 代表URLの応答ヘッダー、正常な業務の結果、オリジンへの要求量と最近の遮断履歴を保存します。変更後に同じ要求を再実行できてはじめて、原因の追跡と復旧が可能になります。

キャッシュとWAFは別の質問で点検します

キャッシュは正しい応答を再利用しているか、WAFは正常な要求を通過させながら遮断ポリシーを適用しているかを確認します。一つの指標で両方を判断しません。

経路	キャッシュの質問	WAFの質問
静的ファイル	バージョン・保持・無効化は 正しいですか？	許可したファイルへの要求が 遮断されていますか？
ログイン・会員	ユーザー情報が共有キャッシュに 残っていますか？	正常な認証要求が通過しますか？
検索・ アップロード	要求ごとに異なる応答を 区別していますか？	正常な長さ・形式の要求が 遮断されていますか？
決済・Webhook	機微な応答・変更系の応答の ポリシーは正しいですか？	サーバー間の正常な呼び出しが 通過しますか？

Akamai App & API ProtectorのEvaluationは、新しいホストが現在のセキュリティ設定でどのように処理されるかを事前に確認するモードです。実際の適用では、契約済みの機能と管理画面のポリシーを確認します。遮断量の増加だけでセキュリティが改善したと判定せず、正常な業務の失敗と併せて調べます。経路全体を広く例外扱いにするより、誤検知された要求の条件と必要な許可範囲を絞り込みます。

> **記入例**
>
> 商品説明に特殊文字を含む正常な登録要求が遮断されました。要求の経路と該当した規則、入力条件を再現したうえで、その条件の処理方法を検討します。管理者用の経路全体を許可する前に、ほかの正常な要求と不正な要求も併せて試験します。

設定点検と修正の記録表

判定は正常・問題・未確認で記録します。未確認は合格として扱わず、確認する要求と担当を割り当てます。修正後は同じ試験をもう一度行います。

CDN・WAF変更の検証表

点検の質問	証拠・試験要求	判定・観測値	修正・担当
ユーザーごとの応答が区別されていますか？	異なるアカウントでの同一URL		
コンテンツの差し替えが反映されますか？	差し替え・無効化・再取得		
購入・アップロードが正常に完了しますか？	主要業務の再現・遮断ログ		
保護対象のホストは一致していますか？	DNS・ポリシー・アクセス記録		
以前の設定に復旧できますか？	設定バージョン・復旧試験		

点検用の要求には個人情報や秘密情報をそのまま残さず、再現に必要な構造と匿名化したサンプルを使います。本番環境のログを閲覧する権限と保管場所も決めます。影響の大きい設定は、承認された試験環境でまず確認します。本番適用が必要な場合は、作業枠、観測担当、中止の基準を変更記録に併記します。

> **合格基準**
>
> 機能試験と応答の正確性に問題がなく、適用バージョンとログがひも付いてはじめて正常と判定します。速度や遮断量のどれか一つだけが改善した場合は、残りの項目を未確認のままにして点検を続けます。

変更後の観測と復旧を続けます

キャッシュ・遮断の設定は、デプロイ、新機能、トラフィックの変化に合わせて点検し直す必要があります。変更した理由と切り戻し先のバージョンを残しておけば、対応が速くなります。

- 切り替え前に、正常な業務の基準線と設定バージョンを保存します。証明書とオリジンアクセスの変更は、別の確認項目にします。
- 変更後は、地域別の応答とエラー、オリジンへの要求、キャッシュヒットと正常な要求の遮断を併せて観測します。
- 問題が起きたら、適用時刻と要求の証拠を照らし合わせます。承認済みの以前の設定に復旧してから、主要業務を再確認します。
- 例外規則ごとに理由・担当・再検討日を記録します。一時的な許可が恒久的な設定として残らないようレビューします。

新しいAPIやアップロード方式をデプロイするときは、セキュリティの運用担当者に要求の形式を伝えます。コンテンツファイルの経路が変わる場合は、キャッシュ規則と無効化の対象も検討します。開発・セキュリティ・インフラの業者が別々でも、変更通知を受ける担当と承認経路を一つの記録にひも付けてこそ、漏れを減らせます。

> **IXCと進める範囲**
>
> IXCはWAF規則の設計と誤検知の調整、DDoS防御、証明書とアクセス制御を扱います。CDNの運用と併せて、要求経路・キャッシュ・セキュリティポリシーを点検する範囲を決めます。

発行・ご利用について

ドメインと代表URL、正常な要求が遮断された事例、現在の設定と変更履歴をもとに点検対象を決めます。

IXC Corp.（アイエックスシー）

代表取締役 ナム・ギチョル | 事業者登録番号 109-86-56732
大韓民国 江原特別自治道春川市後石路462番キル7
春川ICTベンチャーセンター4階408号
+82-33-242-0210 | info@ixc.co.kr

www.ixc.co.kr

www.ixc.co.kr/ja/services/web-security

www.ixc.co.kr/ja/assets/cdn-waf-checklist

参考資料

Akamai: Learn about caching

https://techdocs.akamai.com/property-mgr/docs/know-caching

Akamai: App & API Protector

https://techdocs.akamai.com/cloud-security/docs/app-api-protector

IXC Webセキュリティ WAF・DDoS

https://www.ixc.co.kr/ja/services/web-security